

R7年度 国見小学校 通学路対策箇所図

【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校(学)
- ・道路管理者(道)
- ・防犯担当部署(区民)
- ・警察署交通課(警・交)
- ・警察署生活安全課(警・生)
- ・児童館(児)

(国見小1)

- 交通量が多い。過去に重大な事案が発生している。
- 交差点に近いところで事故が多発している。
- 貝ヶ森方面からの右折車、土橋通半子町線からの左折車の交通量が多い。(児)
- 国見台病院が目の前に建立しているため、不審者事案の発生が懸念点。(児)
- 付近に助けを求められるような住宅が少ない。(児)

<対策内容>

- ・児童への安全指導(学)
- ・学校・児童館が不審者情報や危険箇所を警察へ共有(学)(児)
- ・安全走行を意識させる注意喚起看板の設置(道)
- ・パトロール活動の強化(警・生)

(国見小2)

- バスなどの車両の通行量が多い。
- 土橋通半子町線からの右折車(バス等車両)の交通量が多い。横断歩道はあるが、車道と歩道の区別がない。ランドセルが車両にこすれてもおかしくないくらい、狭い道路。(児)
- 門前町は脇道が多いこともあり、連れ込まれやすい場所でもある。(児)

<対策内容>

- ・児童への安全指導(学)
- ・パトロール活動の強化(警・生)



- : 通学路
- : 交通対策箇所
- : 防犯対策箇所